


平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

県立岐阜盲学校 事業実施報告書②

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 岐阜県 】

| | |
|---------------|---|
| 1 実践テーマ | 【 V 】 |
| 2 実施対象者 | 岐阜県立岐阜盲学校 ゴールボール部員（10名） |
| 3 展開の形式 | （1）学校における活動 ① 教科名（ ） ② 行事名（ ） ③ その他（東海地区盲学校ゴールボール大会） （2）地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ） |
| 4 目標 (ねらい) | ・ゴールボールを通して、技術や体力の向上を目指すとともに、生徒同士の交流と親睦を図る。 |
| 5 取組内容 | <p>○事前の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全校の児童生徒が集まり壮行会を実施した。代表者がエールを送ることで、選手たちは学校の代表で試合に挑む気持ちをもつことができた。 ・体育の授業でゴールボールに取り組むことで、競技を理解して大会の応援ができるようになった。 <p>○ゴールボール大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東海地区の盲学校、視覚特別支援学校から男子5チーム、女子3チームが参加した。各会場では、男女に分かれて優勝を目指して競い合うことができた。 |
| |  |

| | |
|-------------------------|---|
| 6 主な成果 | <ul style="list-style-type: none"> • 今まで、ゴールボールを体験したことがない児童生徒がゴールボールを体験する機会になった。また、他校のチームと対戦できたことで、もっと試合に出場したい意欲をもつことができた。 |
| 7実践において工夫した点 (事業の特色) | <ul style="list-style-type: none"> • 8月に東海地区の盲学校の職員を対象にゴールボールの実技講習会を実施した。その際には、ロンドンパラリンピック金メダリストの中嶋茜氏を講師に迎え、パラリンピックの歴史やゴールボールの特性を講演していただいた。職員がパラリンピックやゴールボールに興味をもつことで、自校の児童生徒にゴールボールの良さを伝えていきたいと考えた。 |
| 8主な課題等 | <ul style="list-style-type: none"> • ゴールボールは競技の特性上、全ての児童生徒が取り組むことは難しいが、特別なルールを設定したり、ボールを工夫したりしていくことで競技の楽しさを伝えていきたい。 |
| 9来年度以降 の実施予定 | <ul style="list-style-type: none"> • 授業、部活動でゴールボールを継続し親しみがもてるようにしたい。 |